

安全データシート

1 化学物質など及び会社情報

作成日: 2022年1月27日
改定日: 2022年1月17日

製品名 : SP coat SP 07935-00070 クボタスポットカラー 耐熱シルバー タッチアップスプレー缶
推奨用途 : 耐熱塗料(混合物)
供給者 : セラミックコート株式会社
住所 : 東京都千代田区内神田1-4-2 大手町ポイントビル
担当部署 : 研究室
電話番号 : 046-298-5170
緊急連絡先 : 03-3294-6111
e-mail : tainetsu@spcoat.co.jp

2 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

極めて可燃性の高いエアゾール : 区分 1

健康に対する有害性

急性毒性

経口 : 分類できない

経皮 : 分類できない

吸入(ガス) : 分類できない

(蒸気) : 区分 4 (18%の未知成分あり)

(粉塵・ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性・刺激性 : 区分 2

呼吸器感受性 : 分類できない

皮膚感受性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 1

臓器の障害

(中枢神経系)

: 区分 2 臓器の障害のおそれ

(肝臓、血液系)

: 区分 3 眠気やめまいのおそれ

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 1 長期ないし反復暴露による臓器の障害

(中枢神経系、腎臓)

: 区分 2 長期ないし反復暴露による臓器の障害のおそれ

(呼吸器、肝臓)

誤えん有害性 : 区分に該当しない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 3

オゾン層への有害性 : 分類できない

【ラベル要素】

絵表示・注意喚起語



危険

危険有害性情報

極めて可燃性の高いエアゾール

高圧容器: 熱すると破裂のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激

吸入すると有害

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

授乳中の子に害を及ぼすおそれ

臓器の障害

長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

(予防策)

- ・容器を密閉しておくこと
- ・熱、火花、裸火、高温体のような着火源からはとおざけること。禁煙。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明器具、工具を使用すること。
- ・保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用すること。
- ・火災時は炭酸ガス消火器、泡消火器及び粉末消火器を使用すること。
- ・取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・環境への放出は避けること。
- ・取扱い時には飲食や喫煙をしないこと。

(応急処置)

- ・吸引した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体勢で休息させること。気分が悪いときには、医師に連絡すること。
- ・皮膚等に付着した場合 : 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
- ・眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に取り外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・漏出した場合 : 漏出物を回収すること。

(保管)

- ・涼しく換気の良い冷暗所で保管すること。子供の手の届かない所に保管すること。

(破棄)

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に廃棄を委託すること。

3 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分、含有量及びCAS No.

成分名	Wt (%)	CAS.No.	PRTR情報(管理番号)	SDS 通知物質
ミネラルスピリット	1 ~ 3	64742-82-1 64742-81-0		551
ジアセトンアルコール	3 ~ 6	123-42-2		202
トルエン	23	108-88-3	第1種指定 300	407
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	1.1	112-34-5	第1種指定 627	224-3
ジメチルエーテル	45 ~ 50	115-10-6		
アルミニウム	3 ~ 8	7429-90-5		37
タルク(アスベスト無し)		14807-96-6		

4 応急措置

吸入した場合

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ・ 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所へ移動し、暖かく安静にする。呼吸が不規則、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けさせること。

皮膚に付着した場合

- ・ 付着物を布で素早く拭き取る。大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーなどは使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
- ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

眼に入った場合

- ・ 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。出来るだけ早く医師の診断を受けること。
- ・ 直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 嘔吐物は飲み込ませないこと。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5 火災時の措置

使用可能な消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末

使ってはならない消火剤 : 水

- ・ 水を消火に用いてはならない。
- ・ 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
- ・ 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- ・ 指定の消火剤を使用すること。
- ・ 高温にさらされる密閉容器は水を掛けて冷却する。
- ・ 消火活動は風上から行う。
- ・ 容器が高温で破裂する恐れがあるので消火活動には十分距離をとること。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・ 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・ 付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・ 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- ・ 漏出時に振とうすると内容物が噴出する恐れがあるので、注意して取り扱うこと。

環境に対する注意事項

- ・ 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ・ 漏出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
- ・ 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・ 乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸着させて回収する。
- ・ 大量の流出には盛り土などで困って流出を防止する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・ 換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。
- ・ 周囲で、火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- ・ 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
- ・ 工具は火花防止型のものを使用する。
- ・ 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄まで水に漬けておくこと。
- ・ 40℃以上の所では取り扱わないこと。
- ・ 40℃以上に暖めないこと。
- ・ 30秒以上の連続使用をしないこと。

保管

- ・ 日光の直射を避ける。通風の良いところに保管する。
- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・ 40℃以上の所で保管しないこと。
- ・ 水回りや湿度の高い所に保管すると容器が腐食して破裂のおそれがあるので保管場所に注意すること。

8 暴露防止および保護措置

許容濃度・管理濃度

成分名	管理濃度	許容濃度(ACGIH)
ミネラルスピリット	- ppm	100 ppm
トルエン	20 ppm	20 ppm
ジアセトンアルコール	- ppm	50 ppm
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	- ppm	- ppm
ジメチルエーテル	- ppm	- ppm
アルミニウム	- mg/m ³	10 mg/m ³
タルク(アスベスト無し)	- mg/m ³	2 mg/m ³

設備対策

- ・ 取扱い設備は防爆型を使用する。排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- ・ 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るようにする。
- ・ 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれなければならないようにする。
- ・ 屋内塗装作業の場合には、自動塗装機等を使用するなど作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
- ・ タンク内部などの密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気が出る装置を取り付けること。

呼吸器の保護具

- ・ 有機ガス用防毒マスクを着用する。密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具

- ・ 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない手袋を着用する。

眼の保護具

- ・ 取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

- ・ 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣服を着けること。化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他

- ・ 静電塗装を行う場合には、帯電防止服、静電靴を着用する。

9 物理的および化学的性質

- | | | | |
|--------|----------------------|----------|------------------|
| ・ 状態 | : 容器中 液体 / 解放時 気体 | ・ 蒸気圧 | : 3800mmHg (20℃) |
| ・ 色 | : 銀色 | ・ 相対ガス密度 | : 情報なし |
| ・ 臭い | : 溶剤臭 | ・ 比重 | : 0.8 |
| ・ PH | : 該当せず | ・ 溶解度 | : 不溶 |
| ・ 沸点 | : -25℃～135℃ | ・ 可燃限界 | : 1.1%～27% |
| ・ 可燃性 | : あり | ・ 発火点 | : 約350℃ |
| ・ 引火点 | : 噴射剤 -41℃
塗料液 4℃ | ・ 分解温度 | : 情報なし |
| ・ 動粘性率 | : 情報なし | ・ 粒子特性 | : 情報なし |

10 安定性および反応性

- ・ 高温でCOなどの有毒ガスを発生する恐れがあるが、常温付近では危険な反応はしない。

11 有害性情報

(危険有害物質を対象)

成分名	急性毒性			
	経口	経皮	吸入(蒸気)	吸入(粉塵・ミスト)
ミネラルスピリット	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない
トルエン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
ジアセトンアルコール	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
アルミニウム	分類できない	分類できない	区分に該当しない	分類できない
タルク(アスベスト無し)	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	分類できない

成分名	皮膚腐食・刺激	眼に対する重篤な損傷性・刺激性	呼吸器感受性	皮膚感受性
ミネラルスピリット	区分2	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
トルエン	区分2	区分2B	分類できない	区分に該当しない
ジアセトンアルコール	区分2	区分2A	分類できない	分類できない
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	区分に該当しない	区分2A	分類できない	分類できない
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
アルミニウム	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
タルク(アスベスト無し)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

成分名	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
ミネラルスピリット	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
トルエン	区分に該当しない	分類できない	区分1A
ジアセトンアルコール	分類できない	分類できない	区分2
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	分類できない	分類できない	分類できない
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない	分類できない
アルミニウム	分類できない	分類できない	分類できない
タルク(アスベスト無し)	分類できない	分類できない	分類できない

成分名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	誤えん有害性
ミネラルスピリット	区分3	区分2	区分1
トルエン	区分1 区分3	区分1	区分1
ジアセトンアルコール	区分2 区分3	分類できない	分類できない
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	区分2 区分3	区分1	分類できない
ジメチルエーテル	区分3	分類できない	分類できない
アルミニウム	区分1	区分1	分類できない
タルク(アスベスト無し)	区分1	区分1	分類できない

12 環境影響情報

漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。

特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

- ・生態毒性 : 情報なし
- ・残留性・分解性 : 情報なし
- ・生体蓄積性 : 情報なし
- ・土壌中の移動性 : 情報なし
- ・成分の水生環境有害性情報(環境有害物質を対象)

成分名	水生環境有害性短期(急性)	水生環境有害性長期(慢性)	オゾン層への影響
ミネラルスピリット	区分1	区分1	分類できない
トルエン	区分2	区分3	分類できない
ジアセトンアルコール	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
ジメチルエーテル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
アルミニウム	分類できない	分類できない	分類できない
タルク(アスベスト無し)	分類できない	分類できない	分類できない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ 廃塗料、容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理すること。
- ・ 容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・ 廃塗料などを焼却処理をする場合には、珪藻土に吸着させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却すること。又は焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生するおそれのある場合は許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約して処理すること。
- ・ 特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理すること。
- ・ エアゾールスプレーの廃棄は、完全にガスを抜いたのちに行うこと(噴射音がしなくなるまで)。

汚染容器および包装

- ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分すること。
- ・ 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理すること。

14 輸送上の注意

- ・ 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・ 容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規則

- ・ 国連番号 : 1950
- ・ 指針番号 : 128
- ・ 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合はそれぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- ・ 海上輸送 : 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。
- ・ 航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

国際規則

- ・ 国連番号 : 1950
- ・ 国連輸送名 : エアゾール(Aerosols, flammable)
- ・ 国連分類 : クラス2.1(引火性エアゾール)
- ・ 海洋汚染物質 : 該当

15 適用法令

- 消防法 : 危険物第四類第1石油類(非水溶性液体)
危険等級 II
- 労働安全衛生法
 - ・ 危険物 : 引火性の物、可燃性ガス
 - ・ 有機溶剤中毒予防規則 : 第二種有機溶剤含有物
 - ・ 表示対象物質 : トルエン、ジアセトンアルコール、ミネラルスピリット、ジエチレングリコールモノブチルエーテル
 - ・ 通知対象物質 : トルエン、ジアセトンアルコール、ミネラルスピリット、ジエチレングリコールモノブチルエーテル
アルミニウム
- 毒物及び劇物取締法
 - ・ 特定毒物 : 該当せず
 - ・ 毒物 : 該当せず
 - ・ 劇物 : 該当せず
- 高圧ガス取締法 : 適用除外項目対象 液化ガス、可燃性ガス
- 船舶安全法/危規則 : 危険物(引火性液体類、高圧ガス)
- 航空法/施行規則 : 危険物(引火性液体類、高圧ガス)
- 海洋汚染防止法 : Y類、Z類

16 その他の情報

参考文献

- ・ SDS用化学物質データベース
- ・ GHS対応 SDS・ラベル作成ガイドブック【混合物用(塗料用)】 日本塗料工業会

本データシートは、作成時または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取り扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではありません。

新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改定致します。

また本データシートに記載のデータはその製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた以外のものと混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件下で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。